

16 ポートおよび 32 ポートの非同期ネットワーク モジュールについて

Document ID: 7258

Updated: 2008 年 1 月 25 日

 [PDF のダウンロード](#)

 [印刷](#)

[フィードバック](#)

関連製品

- [Cisco 3600 シリーズ 16 ポート非同期ネットワーク モジュール](#)
- [Cisco 3600 シリーズ 32 ポート非同期ネットワーク モジュール](#)
- [Cisco 2600 シリーズ マルチサービス プラットフォーム](#)
- [Cisco 3600 シリーズ マルチサービス プラットフォーム](#)

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[製品番号](#)

[機能](#)

[プラットフォームのサポート](#)

[設定](#)

[回線番号](#)

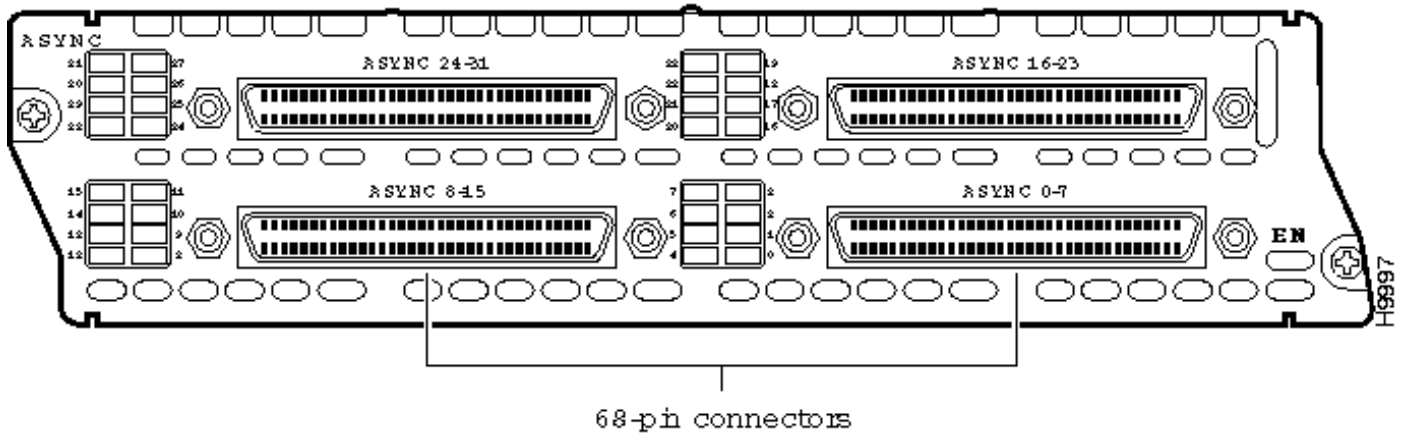
[Field Notice](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

16 ポート (NM-16A) および 32 ポート (NM-32A) の非同期 (async) ネットワーク モジュールでは、最高 134.4 kbps の速度で、16 または 32 個の EIA/TIA-232 (旧称 RS-232) Data Terminal Equipment (DTE; データ端末装置) シリアル インターフェイスが提供されます。これらのモジュールでは、CAB-OCTAL-ASYNC= や CAB-OCTAL-MODEM= などの 68 ピン OCTAL ケーブルが使用されます。NM-16A および NM-32A モジュールは、コミュニケーション/ターミナル サーバの設定で、その他のデバイスのコンソール ポートへのアウトオブバンド接続を提供するために頻繁に使用されます。



前提条件

要件

「[プラットフォーム サポート](#)」セクションを参照してください。

使用するコンポーネント

「[プラットフォーム サポート](#)」セクションを参照してください。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

製品番号

NM-16A - 16 ポート非同期 ネットワークモジュール

NM-32A - 32 のポート非同期 ネットワークモジュール

機能

- 16 または 32 個の非同期ポート。
- 68 ピン コネクタを使用： [CAB-OCTAL-ASYNC=](#) または [CAB-OCTAL-MODEM=](#)。
- すべてのポートで同時に 134 kbps 非同期をサポート。
- 最大で Cisco 3640 ごとに 3 つのモジュール、Cisco 3620 ごとに 1 つのモジュール、および Cisco 2600 ごとに 1 つのモジュールをサポート。

[プラットフォームのサポート](#)

プラットフォーム	Cisco 2600	Cisco 2600 XM	Cisco 3620	Cisco 3640	Cisco 3660	Cisco 3691、3725、3745
NM-16A	11.3(3)T、 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、 12.3(1)	12.1(14)、 12.2(12)、 12.2(8)T1、 12.2(11)Y T、 12.3(1)、 12.3(2)T	11.2(7)P、 11.3(1)、 11.3(1)T 、 12.0(1)、 12.0(1)T 、 12.1(1)、 12.1(1)T 、 12.2(1)、 12.2(2)T 、 12.3(1)	11.2(7)P、 11.3(1)、 11.3(1)T、 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、 12.3(1)、 12.3(2)T	12.0(5)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、 12.2(11)YT、 12.3(1)、 12.3(2)T	12.2(13)T、 12.2(11)YT、 12.3(1)、 12.3(2)T
NM-32A	11.3(3)T、 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、 12.3(1)	12.1(14)、 12.2(12)、 12.2(8)T1、 12.2(11)Y T、 12.3(1)、 12.3(2)T	11.2(7)P、 11.3(1)、 11.3(1)T 、 12.0(1)、 12.0(1)T 、 12.1(1)、 12.1(1)T 、 12.2(1)、 12.2(2)T 、 12.3(1)	11.2(7)P、 11.3(1)、 11.3(1)T、 12.0(1)、 12.0(1)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、 12.3(1)、 12.3(2)T	12.0(5)T、 12.1(1)、 12.1(1)T、 12.2(1)、 12.2(2)T、 12.2(11)YT、 12.3(1)、 12.3(2)T	12.2(13)T、 12.2(11)YT、 12.3(1)、 12.3(2)T

注: ここに示す Cisco IOS(R) ソフトウェア リリースは、通常はその問題となっているプラットフォーム、モジュール、機能をサポートするための、最低限のものになっています。 [使用しているネットワークデバイスに適したソフトウェアを選択するには、Software Advisor \(登録ユーザー専用\)](#) を使用してください。ソフトウェア機能を Cisco IOS と CatOS のリリースに照合し、IOS の各リリースを比較し、使用しているハードウェアをサポートしているソフトウェアを探してください。

設定

NM-16A モジュールと NM-32A モジュールは、その他のデバイスのコンソール ポートへのアウトオブバンド接続を提供するために頻繁に使用されます。ルータを comm server で設定するために、これらの文書を参照して下さい:

- [ルータ コンソール アクセス用のターミナル/コミュニケーション サーバの設定](#)
- [Sun コンソール アクセス用コミュニケーション/ターミナル サーバの設定](#)

一般的なモデム設定の詳細は、『[NM-8AM または NM-16AM アナログ モデム モジュールを使用するダイヤルアウトの設定](#)』を参照してください。上記のドキュメントでは NM-16A モジュールと NM-32A モジュールには言及されていませんが、設定の概念は適用可能です。

詳細は、[アクセスダイヤル テクノロジーに関するサポート ページ](#)を参照してください。

16 ポートと 32 ポートの非同期ネットワーク モジュール上では、インターフェイスは `interface async <line number>` として参照されます。

回線番号

Cisco IOS ソフトウェアの以前のリリースでは、ネットワーク モジュール スロットごとに 16 個の非同期回線番号が予約されていました。32 ポートの非同期ネットワーク モジュールでは、これが問題の原因となります。これにより、Cisco 3600 に NM-16A モジュールか NM-32A モジュールが取り付けられていると、Cisco IOS ソフトウェアによりスロットごとに 32 個の回線番号が予約されます。このため、すでにスロットごとの 16 個の回線番号に基づく非同期設定があるシステムに NM-16A モジュールか NM-32A モジュールが取り付けられると、問題が発生します。現在、補助ポートは、Cisco 2600 および Cisco 3620 では回線 65、Cisco 3640 では回線 129 になります。 `show line` コマンドを使用すると、シャーシの回線番号設定を確認できます。

```
line number = (<slot> * 32) + <unit> + 1
```

詳細は、『[Cisco 3600 シリーズ ルータにおける非同期回線の番号設定](#)』を参照してください。

Field Notice

- [Field Notice : Cisco アクセス サーバでのターミナル サーバブレイク キャラクタ](#)

関連情報

- [アクセス製品およびダイヤル テクノロジーに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ([シスコ サービス契約](#)< ts generic='1' nval='P%1,2%'>が必要ですよ)。

Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2008 年 1 月 25 日

Document ID: 7258